

第44回(公社)宮城県芸術協会音楽コンクール ピアノ部門 予選

上級

予選通過者番号

1	4	7	8	9	13				
---	---	---	---	---	----	--	--	--	--

審査講評: 植木 由利子 審査員長

古典派のソナタを演奏する上で大切なことをいくつか挙げてみます。

まず、和声の理解に基づくフレーズの把握と、和声感・調性感といった豊かな音色表現は、演奏内容を高めるために大変重要です。

さらに、今回の課題である第一楽章では、提示部における第1主題と第2主題の対比、展開部での劇的な転調、そして再現部での主題回帰といった構造を把握し、それに基づいた構成力のある演奏が求められます。

曲を分析し、その内容を読み解く力を養っていくことを心がけて欲しいと思います。

また、テンポの一貫性と拍子の把握、適切なペダリングも大切です。

古典派の作品を深く理解することは、その後のロマン派や近代の作品を演奏する上で非常に重要となりますので、今後も積極的に取り組んで下さることを願っています。

特級

予選通過者番号

1	2	6	7	8	10	12	13		
---	---	---	---	---	----	----	----	--	--

審査講評: 植木 由利子 審査員長

幅広い時代の多くの作曲家の作品の中から自由に選曲する部門ですから、それぞれの作曲家の作風や時代様式を理解することが大切です。

上級の部門で指摘した内容理解をさらに発展させ、より多彩な音色、音そのものによる表現、立体的で豊かな響き、緻密なペダリング等、「音を吟味し」、「美しい響きを追求し」、「聴く人の心に響く」表現力と説得力のある演奏が求められます。

難易度の高い曲を演奏する上で高度なテクニックの習得は不可欠ですが、「弾く」ことに精一杯になるあまり、「呼吸」の浅い演奏にならないように気をつけることも大切です。

これからも、たくさんの素晴らしい曲に出会い、音楽の喜びと感動を多くの人と共有していただけたらと心から願っています。